

施策評価調書(24年度実績)

施策コード Ⅲ-3-(2)

政策体系	施策名	「新しい形の公共」を担う多様な主体との協働の推進	所管部局名	生活環境部	長期総合計画頁	133
	政策名	多様な県民活動の推進	関係部局名	生活環境部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②
取組項目	行政、NPO、企業などの協働の推進	協働推進のための体制の整備・充実

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		24年度			25年度	27年度	目標達成度(%)											
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125							
i	NPOへの事業委託件数(件/年)	①	H16 49	108	84	77.8%	111	120												
ii	提案公募型事業の件数(件/年)	①	H16 5	47	35	74.5%	48	50												
iii	NPO及び企業から情報交換会等へ参加した人数(人/年)	②	H22 504	700	808	115.4%	800	1,000												

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i	著しく不十分 各種委員会等への参加及び補助事業等によるNPOとの協働は進んでいるが、委託事業件数は目標値を下回った。今後は、起業支援型地域雇用創造事業などの活用によるNPO等への委託を促進していく。	達成不十分
ii	著しく不十分 各種委員会等への参加及び補助事業等によるNPOとの協働は進んでいるが、提案公募型事業の件数は目標値を下回った。今後は、起業支援型地域雇用創造事業などを通してNPO等への企画提案事業の採用を促進していく。	
iii	達成 大分版市民ファンド創設支援等の「NPO活動活性化支援事業(新しい公共支援事業)」の実施により、NPO、企業等からの参加者が増加した。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・「NPO等活動活性化支援事業」で実施したソーシャルビジネス支援事業に参加した1NPO法人が金融機関から融資を受けることができた。 ・「同事業」で実施した佐伯市米水津・宮野浦地区災害対策「むらの覚悟」推進事業が、共助型災害対策計画のモデル事業として、視察に訪れた他自治体や企業から評価を得ることができ、今後同様の取組みが広がることを期待される。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県版市民ファンド「めじろん共創応援基金」を創設することができ、今後民間レベル(企業等)の協働の推進が期待される。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(24年度事業)	事業コスト(千円)	25年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	NPO協働推進事業	9,724	継続	120
②	NPO等活動活性化支援事業	102,794	終了	119

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会(H25.7.26)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPOを作るのはいいが、これをうまく活かすこと、政策で使うことをよく考えてもらいたい。 	<p>○第1回大分県協働推進会議(H24. 11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこにどのようなNPO法人があって、どのような活動をしているかが、浸透するには随分時間がかかる。NPOの活動を広く知ってもらえるような努力をすべき。 <p>○第2回大分県協働推進会議(H25. 3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県職員のNPO現場体験研修は、NPO法人にとって、職員との関係が広がり、助言などを得る良い機会となる。より多くの職員が参加し活発な研修となることを期待している。
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
C	<ul style="list-style-type: none"> ・おおいたボランティア・NPOセンターの運営等を通じ、協働を担えるNPOの育成に努める。 ・大分県版「めじろん共創応援基金」と連携し、行政とNPOが一緒になって、協働に関する地域課題の掘り起こしを行う。 ・協働推進庁内連絡会議や職員向け関係研修に積極的に取組み、協働に対する県職員の意識や理解を深める。